

教育に特化した中間支援で創る、沖縄の未来

～「ゆいという公共育」の創出に向けた取組～

第2回沖縄地域人材育成構想会議
(沖縄産学官協働人材育成円卓会議WG)

株式会社うむさんラボ

2026年6月10日

目指すのは「株式会社沖縄県」



UmuSun lab.

それは自律共創の精神で、県民一人一人がワクワクしながら育んでいく「新しい沖縄の在り方」。

沖縄のさまざまな社会課題をビジネスの力で解決

しながら、「ありのままでいいよ」「ありがとう」「分かち合おうね」の言葉に溢れたあたたかい社会を創造していきます。

企業の枠やセクターを超え、県民も巻き込み、

世界に誇れる沖縄らしい「幸せの経済と社会」をデザインしよう。

目指すのは「株式会社沖縄県」



UmuSun *lab.*

やっていることは

- 「人」づくり
- 「事業」づくり
- 「仕組み」づくり

教育に特化した中間支援機能

～ゆいという公共育システム～

教育に特化した中間支援機能の必要性

課題感



教育に特化した中間支援機能の必要性

課題感





経済産業省 令和7年度

「未来の教室」実証事業に新規採択

～教育に特化した**中間支援機能**と多様な**資金調達方法**の創出に向けた実証事業～

伸ばす
学び

共助

多様な
学び

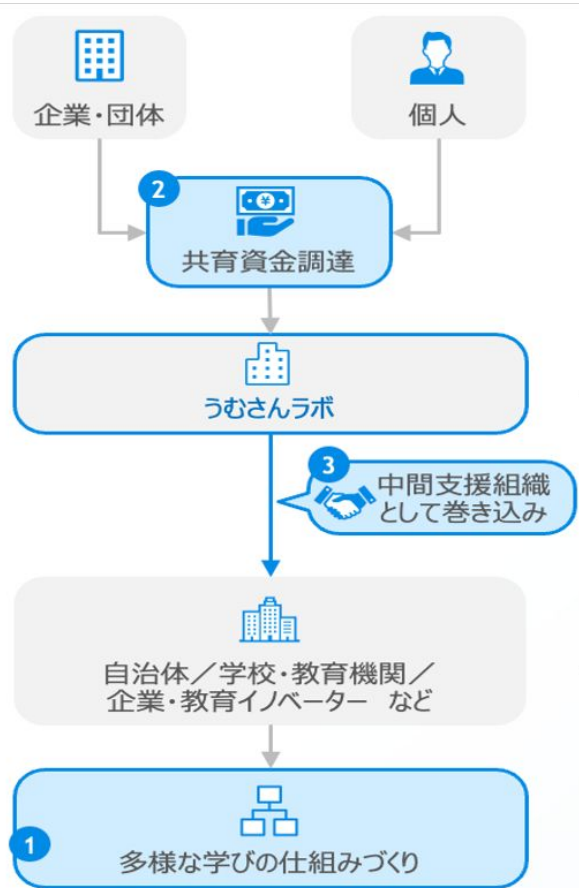
沖縄発「ゆいという公共育」の共創に向けて

沖縄発「ゆいという公共育」の共創に向けて

3つのキーワード

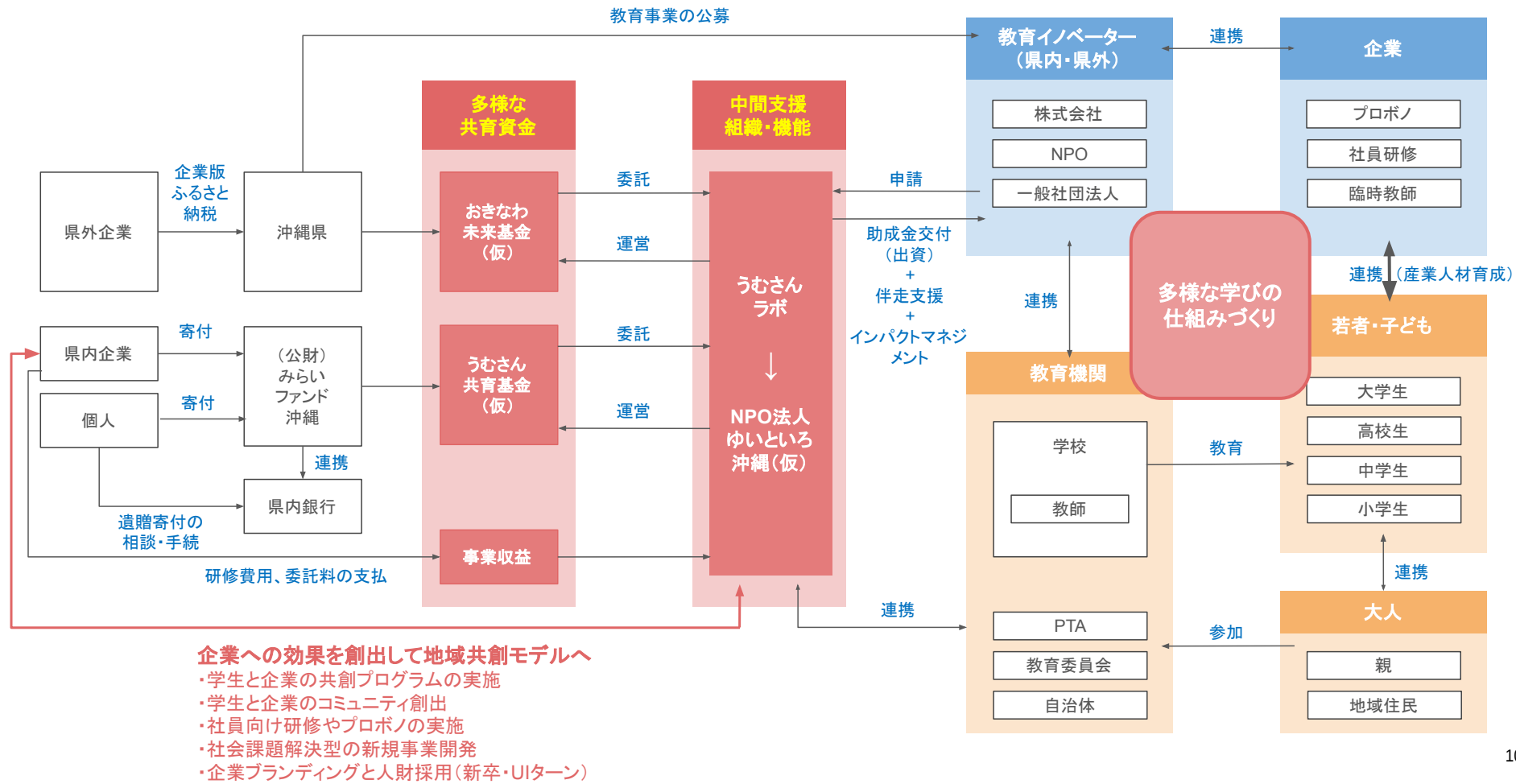
- ① **公共** 誰もがアクセスでき、誰にでも「自分の居場所」がある
- ② **共育** 子どもも大人も、お互いに学び合い、共に成長していく
- ③ **協育** 地域の多様な人たちが連携し、お互いに協力し合う

沖縄発「ゆいという公共育システム」の全体スキームと取組内容

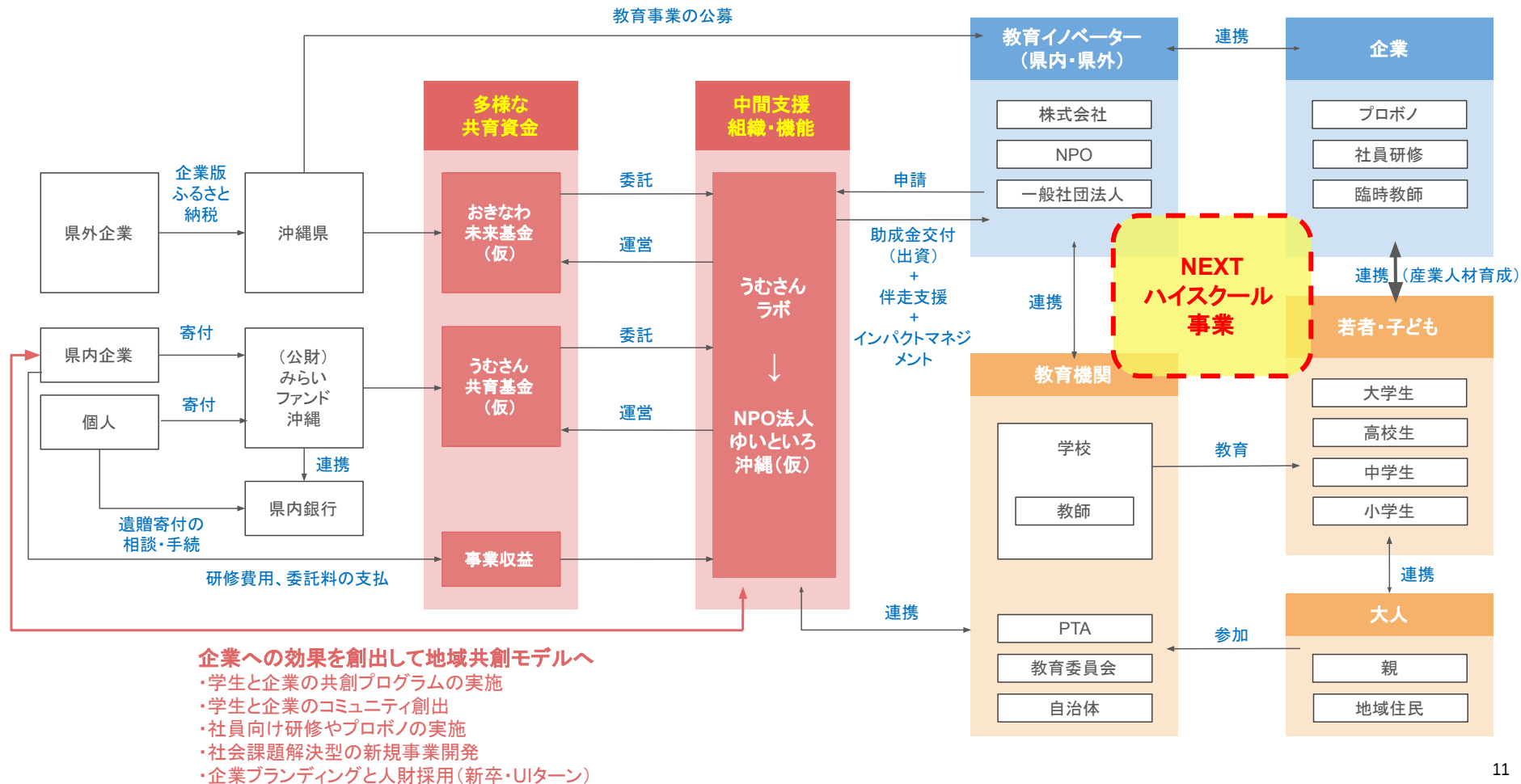


- ① 体験を通じて「心」を育む
多様な学びの仕組みづくり
- ② 多様な共有資金調達方法の創出
- ③ 教育に特化した中間支援機能の創出

■ 沖縄発「ゆいという公共育システム」の全体スキーム



■ 沖縄発「ゆいという公共育システム」の全体スキーム





沖縄発「ゆいといろ公共育」の共創に向けて

「ゆいといろ」とは

『ゆいといろ』とは、“**ゆいまーる**”という沖縄に古くから受け継がれてきた相互扶助の精神と、“**十人十色**”という四字熟語を掛け合わせてつくった言葉。

1つ1つの命が持つ個性や役割はすべてに意味があり、それぞれの違いをお互いに尊重し、強みを活かし合い、弱みを補い合うことができれば、世界全体がもっと豊かになる、という想いを込めた**平和・調和の心**。

【ゆいという公共育プログラムのイメージ】

『ゆいという公共育』とは、子どもも大人も共に“心”を育む多様な学びの仕組みです。さまざまな体験を通じた、「自分の心を大切にする力」、「相手の心も大切にする力」、そして「人と社会のつながるための力」を育んでいきます。

